

「青少年問題協議会」発足する

青少年を健全に育てるとともに、青少年をとりまき社会の無環境を浄化し、健全育成を阻害するおそれのある行為から、青少年を守ることをねらいとする岩室村青少年問題協議会は、六月二十六日開支所で初会合を開き、この問題について熱心な協議研究がなされた。この協議会は小学校入学の始期から十八才未満の青少年を対象とし、これらの青少年がすこやかに生長するよう適切な措置を講ずるための機関です。

委員は次のとおり。
会長 佐藤賢之輔(村長)
副会長 佐藤賢之輔(村長)

公民館運営委員 決まる

七月十三日第二回公民館運営協議委員会が開催され、継続審議の課題であった公民館運営委員について、左記の通り決定を嘱いたしました。

尚今回は従来の形態を一部変更し、審議委員からも運営委員として御協力いただくことになりました。

新委員の氏名左の通り。

- 竹内 登 和納六区
- 斎藤 嘉吉 和納三区
- 山上 正二 夏井
- 阿佐 一郎 夏井
- 相田 正敏 和納八区
- 荒井 清一 高畑

学級通信

和納地区婦人学級

和納地区婦人学級の開講式が、七月二十八日午後二時から和納小学校で行なわれ、三部公民館長の開講の挨拶について、佐藤和納小学校長から文部省受嘱学級としての学習計画等についての説明があり、県社会教育委員高橋八十先生の記念講演が行なわれ、午後四時三十分散会した。

尚今回の学習計画は一応二ヶ月迄の計画で、農業講座生活講座、調理講座の三講座に分かれて学習をする事になっていて、この外誰れでも参加出来る講演会を数回予定している。

岩室地区婦人学級

岩室地区婦人学級は八月二十八日午後一時より、東、西両校舎に於いて、児童の作品展の参観を兼ね夏休み中の子供の生活反省について、先生方を中心に話し合いが進められる。

七月十九日巻普及所鈴木技師を講師に、畑作関係についての講義と実地に於ける指導が行なわれ、好評を博した。

間瀬地区婦人学級

七月二十七日西船越公会堂で、保健婦から夏期に於ける衛生管理についての指導をうけた。又当日映画フィルムを用意したため、上映途中で配電線の故障のため、最後まで見る事が出来なかつた事は非常に残念である。

現在での申込者数二十三名であるが、この講座は材料費として若干の自己負担が伴います。

四十才以下の婦人のつどい

岩室地区婦人会の主催で四十八才以下の婦人のつどいが、八月二日午前九時より岩室中学校で、吉川シヅ先生、新沼市笠木小学校長を講師に迎え開かれた。

天狗はよつといで

八月十七日午前九時から岩室役場で、明共、将棋大会が開かれます。申込みは十日迄、参加費は一人五〇円、中食を用意いたします。特に初心者をお知らせ。

野球大会のお知らせ
九月一日、二日の両日、野球大会を開きます。チーム編成等も考慮の上練習を願います。申込みは二十五日迄、午後キヤンペン会議を開きます。参加料二百円。

あとかぎ

○和納地区の敬老会が二十三日に開かれます。今年も新沼から芸人が演芸を楽しんでいただきます。
○台風八号は自然消滅、これからはもうありません。
○小池主事が七月十五日から八月一杯、東京へ長期講習。四月入所の新一年生、気はあせれど仕事進まず。
○広報第四号の刷付完了。一番の鳴き声がする。(福田)

花嫁衣裳の新調を決定

和納地区生活改善推進協議会では、七月二十一日本年度第一回目の会合を、花嫁衣裳関係についての運用状況及び収支面について、公民館側からの説明を聞いた後、関係業者から呈示された見本を前にして投票で新衣裳、振袖一組(約六万円)を新調する事に決定した。尚新衣裳は梅組と命名

され、各位からの利用方を望む事になった。又旧来利用された留袖二組のうち一組を黒紋付に仕立て直し、利用を待つ事になりましたので袴や御活用下(電組)(留袖) 五〇〇円、黒紋付(二組) 五〇〇円

のを手がかりとして、主婦の生活実態を話し合い、その向上を目標として、三回の学習のうち一回は専門講師を招聘し、意見の調整と検討をする事になっている。

○調理講座は「家庭の献立をゆたかに」を主題とし、西洋料理、中華料理、日本料理の家庭調理の実習をして、そのコツを学ぶ事を目標にしており、西洋料理の実習を二回、中華料理の実習を一回、その他の実習を三回計画しており、講師は新沼市鍋茶屋の板前さん等一流人が予定されています。

これらの講座はいづれも八月三日を第一回目として、十七日、九月一日、十月一回、十一月一回、十二月一回の開催が予定され、今後の受講希望者の増加が予想されており、公民館では腐木普及員から指導を受ける。

青年教育の一つとして実施している、ラジオ農校生の教育キャンプを来る十六、十七、十八日の三日間、長野県志賀高原、木戸地キャンプ場で実施する。すでに去る三日、和納中学校で巻町の生徒と一緒に別編成、役割、研修課題等事務局側役員の紹介も終り出発を待つのみとなった。

十六日は午前六時三十分岩室役場前で巻町の班別編成をなし、二台のバスに乗車、長岡、十日町を経て長野県に入り、リンゴ園及び樺果場を見学した後、木戸地キャンプ場へ向い第一夜を過ごす。

翌日は坊平山(一、八三九米)の登頂をなし、午後は自由行動。夜はキャンプファイヤーを囲み、若く力強い青春の歌声に包まれ乍ら第二夜を終る。

三日目は借用物の返済等一切を済ませ、集団生活に於ける意義を講義した後、長野野善光寺へお詣りし午後六時帰村の予定。